

International Development Center of Japan
IDCJ 国際開発センター

開発コンサルタントの仕事を内側から学ぶ ～IDCJが事務嘱託職員を募集～

国際開発センター（IDCJ）では、2016年度の新卒採用として、コンサルタント業務を組織の内側から見ることができる事務嘱託を募集しております。選考開始を8月に控え、今月より2回にわたって当センターの事務嘱託職員の採用制度を紹介します。

当センターでは、将来、開発コンサルタントを目指している新卒の方を対象にした事務嘱託職員の採用を2011年度より実施しています。中途採用が主流を占める開発業界への就職は、学部を卒業したばかりの新卒の希望者にとっては非常に狭き門ではないでしょうか。本制度では、原則3年間の勤務をお願いしており、援助案件などの支援業務を通じて開発コンサルタントに求められる姿勢やスキルを身に付けていただきます。3年間の勤務を終えた後は、海外の大学院に留学（会社からの資金補助制度有り）し、修士号を取得して開発コンサルタント企業への就職を目指していただくことを想定しております。（本制度の詳細は当センターのホームページをご参照ください。）

当センターは、「世界の明日を考える」をキーワードに、地域開発、産業・経済開発、農村・農業開発、社会開発、教育開発、観光・運輸交通開発などのソフト分野を主なフィールドとして、開発途上国のニーズや国際協力の理念に合致した活動と提案を行う開発コンサルタント会社です。開発コンサルタントとは、世銀や国際協力機構（JICA）などの開発援助機関が発注する国際協力プロジェクトを、現地で実際に実施するフィールドプレイヤーです。開発途上国が抱えるさまざまな課題に対し、高い専門性と豊富な経験をもって対応し、限られた時間と予算の中で支援目標の実現を目指す、いわば国際協力のスペシャリストです。

近年、グローバルビジネスが先進国と開発途上国の区別なく進展するのに伴い、国際協力の課題は一層拡大・複雑化しております。こうした課題に対応するために、当センターでは、評価部、経済社会開発部、開発プロジェクト部、業務支援室の4事業部門体制で業務を実施しています。事務嘱託職員として採用された方には、業務支援室に所属しながら、主に「プロポーザル作成支援」と「プロジェクトの間接支援」の2つの支援業務を担当していただきます。プロポーザル作成支援では、プロのコンサルタントが書いたプロポーザルを教材として、開発途上国における課題解決への取り組み方や、コンサルタントの理念、姿勢などを学ぶことができます。また、プ



業務支援室のメンバー：IDCJオフィスにて

ロジェクトの間接支援では、プロジェクトの契約から精算までの支援業務全般（ロジ）を担当していただきます。地味な業務ですが、後方支援が充実していればプロジェクトの業務も円滑に遂行されるため、ロジ担当者はプロジェクト成功の重要なカギを握る存在です。また、この業務を通じ、コンサルタントにとってはしっかりした専門性（サブ）を持つことと同じくらい重要だと言われているロジ能力を磨くことができます。

3年間の任期中は、原則、国内での業務が中心ですが、コンサルタントとしての基礎を固めながら、専門分野の知識を深める上ではまたとない機会だと言えます。国際協力に興味を持ち、将来、開発コンサルタントとして活躍することを希望される方々のたくさんのご応募をお待ちしています。（次号では、本制度の最終年である3年目を迎える若手職員の声を紹介します。）

なお、今回の募集にあたり、業務支援室で勤務している若手職員を対象に、当センターの職場環境に関するアンケートを実施しました。アンケート結果は当センターホームページ上に掲載しております。また、職員がこの制度を利用して感じた印象なども併せて紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

国際開発センター（IDCJ）では現在、2016年度の事務嘱託職員採用活動を開始しています。開発業界に興味をお持ちの20歳～25歳の方々、ぜひIDCJと一緒に働きませんか。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.idcj.or.jp/news/150301.html>

応募書類の締切は2015年8月7日（金）必着です。
たくさんのご応募お待ちしております。